

原町分会合同旅行

10月16日(水)~17日(木)にかけて総聯とニョメン原町分会が合同旅行を行いました。

原町分会は東日本大震災による原発事故の影響やコロナウイルス感染症による行動制限の影響などにより正常的な分会活動を行うのはとても難しいなかでも、総聯とニョメンの分会長たちが中心となり5戸しかない同胞家庭のために食事会や旅行などを企画してきました。

4年ぶりに行われた今回の旅行では、今年80歳を迎える総聯分会長のお祝いの席も設けられ、分会長は驚きながらもお祝いのプレゼントを嬉しそうに受け取りました。合同旅行は終始、和気あいあいとした雰囲気です。まるで1つ家族のように過ごしていました。

美化活動

10月20日(日)に今年3回目となるチョチョン・青商会合同ハッキョ美化活動が行われました。

今回はハッキョ校舎2階にある図書室の清掃と整理作業を行いました。

学生時代読んでいた本やウリハッキョにしかないめずらしい本などを手に取り、懐かしみながら作業を進めました。

〈サッカーU17女子W杯〉朝鮮がグループ首位通過

ドミニカ共和国で開催されているサッカーU17女子ワールドカップ(10月16日~11月3日)で、朝鮮代表がグループステージ3連勝で首位通過を果たした。ノックアウトステージの準々決勝ではグループDで2位のポーランドと対戦する。試合は27日8時(以下すべて日本時間)から行われる。朝鮮は2008年第1回大会と2016年第5回大会で優勝しており、今回3度目、8年ぶりの優勝に挑んでいる。5月にインドネシアで開催されたアジアサッカー連盟(AFC)U17女子アジアカップでは24得点無失点で優勝した。

初戦のメキシコ戦(18日)は4-1で快勝、2節のケニア戦(21日)では3-0で完勝し、準々決勝進出が確定した。最終節(24日)は同じく8強進出を決めたイングランドと首位をかけて対戦。ここでも朝鮮は持ち前のゲームメイクを遺憾なく発揮し、前半にFW カン・リュミ、FW チェ・イルソン選手が、後半にDF リ・グクヒャン、FW ホ・ギョン選手が得点を決め、4-0で完勝を収めた。先制点をあげたカン・リュミ選手は試合後のインタビューで、「チームメイトが良いパスを出してくれたので得点を決められた」と喜んだ。ソン・スングォン監督は「選手たちが全力で試合に臨み、勝利することができた。次戦からは、より大きな勝利、世界の頂点を目指して、力強く駆け抜けていく」と意気込みを語った。

一方、他のグループでは、ナイジェリア、スペイン、日本が首位で、エクアドル、米国、ポーランドが2位の成績でグループステージを突破した。(朝鮮新報より引用・抜粋)

24	25	26	27	28	29	30
木	金	土	日	月	火	水
8日会	ニョメン会津 食事会、会津 オンラインアド ン教室	ニョメン菜園、 平・若松分会 交流モイム			ニョメン中通り 支部文化教室	